

敦賀市議会

議会だより

4月臨時会
5月臨時会
6月定例会

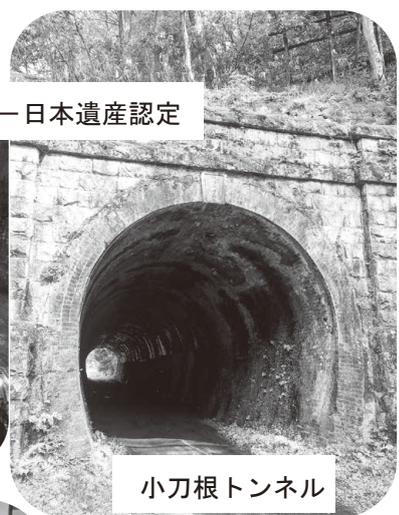
CONTENTS

議長、副議長選出、意見書の提出・・・2
委員会構成・・・・・・・・・・・・・・3
常任委員会審査報告・・・・・・・・4～7
特別委員会中間報告・・・・・・・・8～9
一般質問・・・・・・・・・・・・・・10～14
審議結果一覧・・・・・・・・・・・・・・15
議会日誌、9月定例会の日程・・・16



海を越えた鉄道—日本遺産認定

桄曲トンネル



小刀根トンネル



市立敦賀病院 新型コロナ対策



子育て支援（食品提供）



視覚障がいのある方等を対象として音訊（CDに録音）された議会だよりもあります。ご希望の方は敦賀市社会福祉協議会までご連絡ください。敦賀市社会福祉協議会【電話 0770-22-3133（代）】

議長に田中氏、

副議長に大塚氏を選出

定例会初日の6月8日に、和泉議長、馬淵副議長よりそれぞれ辞職願が提出され、本会議にていずれも許可されました。

これに伴い、正副議長選挙を行った結果、第57代議長に田中和義議員、第59代副議長に大塚佳弘議員が選出されました。

第57代議長

田中
和義



第59代副議長

大塚
佳弘



意見書の提出

6月定例会で、議会提出議案として提出された意見書案が可決され、関係行政庁に提出いたしました。意見書の件名及び要望事項は下記のとおりです。

◎原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法の期限延長等を求める意見書

原子力発電は、国のエネルギー基本計画において、安全性の確保を大前提に、長期的なエネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源に位置付けられている。

立地地域は、国策である原子力政策に協力し、国民生活の安定と社会経済の発展に貢献すると同時に、地域の発展と住民福祉の向上に取り組んできた。

原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法に基づく支援措置については、立地地域の防災力の向上や地域振興に大きく貢献してきたところであるが、この法律は10年間の期限立法であり、令和3年3月31日をもって失効することとなっている。

しかし、決定された振興計画の事業は、未だ達成されていないものもあることから、今後、引き続き事業の進捗を図ることが求められている。

また、福島第一原子力発電所事故による原子力災害を踏まえた原子力防災の充実、強化への取組が喫緊の課題となるとともに、立地地域の将来にわたる持続的な発展のため、地域の特色に合った地域振興が図られる必要がある。

このため、本特別措置法による支援措置が今後とも重要であり、また、現状に即した制度の拡充が不可欠であることから、次のことについて強く要望する。

記

- 1 この法律の期限を延長するとともに、対象事業の拡大、国の負担割合の引き上げを行うこと。
- 2 不均一課税に伴う特例措置の対象業種を拡大するとともに、雇用規模等の要件を緩和すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年6月29日

敦賀市議会

委員会構成

新しい委員会のメンバーを紹介します。

今回の議長、副議長の改選並びに会派の編成変更により、各委員会の構成に変更がありました。

議会運営委員会

条例に基づいて設置され、議会を円滑に運営するための協議を行います。

委員長 福谷 正人
副委員長 石川 栄一
委員 山本 武志
" 中道 恭子
" 浅野 好一
" 中野 史生
" 豊田 耕一
" 山本 貴美子
" 和泉 明
" 立石 武志

常任委員会

条例に基づいて設置され、全議員が必ずいずれかの委員会に所属します。定められた所管事務の調査を行い、市長から提出された議案や、市民からの請願などを審査します。

総務民生常任委員会

委員長 石川 栄一
副委員長 中道 恭子
委員 今大地 晴美
" 前川 和治
" 豊田 耕一
" 和泉 明
" 有馬 茂人

(※1名欠員)

産経建設常任委員会

委員長 中野 史生
副委員長 林 恵子
委員 山本 武志
" 三國 真弓
" 松宮 学
" 浅野 好一
" 北村 伸治
" 林 正男

文教厚生常任委員会

委員長 馬 渕 清和
副委員長 縄手 博和
委員 川端 耕一
" 今川 博
" 大塚 佳弘
" 山本 貴美子
" 福谷 正人
" 立石 武志

予算決算常任委員会

委員長 浅野 好一
第1副委員長 北村 伸治
第2副委員長 山本 武志
委員 議長を除く全議員

特別委員会

特定の案件について集中的な審査調査が必要などとき、議会の議決によって設置されます。

原子力発電所特別委員会

委員長 和泉 明
副委員長 石川 栄一
委員 縄手 博和
" 今川 博
" 浅野 好一

新幹線対策特別委員会

" 豊田 耕一
" 山本 貴美子
" 福谷 正人
" 馬 渕 清和
" 立石 武志

市庁舎建設対策特別委員会

委員長 福谷 正人
副委員長 山本 武志
委員 今大地 晴美
" 中道 恭子
" 三國 真弓
" 松宮 学
" 中野 史生
" 有馬 茂人
" 北村 伸治
" 林 正男

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。

● 予算決算 ●
常任委員会 ●

〔第59号議案〕
令和2年度 敦賀市一般会計補正予算（第9号）【6月定例会】

質疑

◎産業間連携推進等事業費

問 VPPの実証事業を行うということだが、受益と負担の関係がはつきり見えない。国の補助金があるものの、事業を進めるに当たっては市の人件費等を費やすこととなる。今後の雇用や税金につなげる必要があると思うが、どのような将来を描いているのか。

答 県のEコースト計画に基づき、嶺南地域でスマートエネルギーエリアの形成を目指すことが基本的な方針であるが、今回のVPPの実証事業の成果を地元に着させ、企業誘致につなげる仕組みづくりは必要であると考えている。あわせて、地域振興にもつなげるため、『VPP』や『再エネ』をキーワードに、電力事業者と経済的メリット等について現在、協議を行っている。

VPPとは
仮想発電所と訳され、地域に散らばる太陽光や蓄電池、EVなどのエネルギーソースをIoT技術で管理・制御することにより、一つの発電所のように機能させる新しい需供調整の考え方

質疑

◎地域おこし協力隊活動支援事業費

問 当初予算ではなく、補正予算で計上していることで、計画性のない事業のように思えるが、なぜ、今の時期に予算計上することになったのか。

答 そもそも、地域おこし協力隊の受け入れは、市内部の移住定住促進プロジェクトチームからの提案である。当初は商工部門で受け入れを行う案も出ていたが、検討をすすめる中で、観光部門に力を入れ、SNSを利用し、都会人目線で敦賀の魅力を発信してもらうという結論に至るまでに時間を要したため、当初ではなく、補正での予算計上となった。

問 人選については、最低限の基本条件とそこに加味する部分ということだが、数値による評価が出来ないため、社交性や情報発信力等は、人を見て判断しなければならぬ。

敦賀市と敦賀観光協会による選考のことだが、どのように面接等を行い、相手のスキルを見抜くのか。

答 まずは書類選考から始まり、その後面接という流れになるかと思う。敦賀観光協会は、出向宣伝や観光

敦賀キャンペーン隊の審査等を行っているため、人を見るという意味では実績がある。

本市が必要とする人材や本人のアピールを重視し、県内他市町や先進事例を参考にしながら、選考方法等について検討していきたい。

採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔第78号議案〕
令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第10号）【6月定例会】

質疑

◎ひとり親世帯臨時特別給付金

問 敦賀市の対象となる世帯数と子ども数を伺う。

答 給付対象となる世帯は、

- ①令和2年6月分の児童扶養手当が支給される491世帯
- ②公的年金等を受給しており、児童扶養手当の支給を受けていない43世帯（見込み）
- ③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が児童扶養手当の対象となる水準に下がった117世帯（見込み）であり、合計651世帯で、その世帯に対し960

名の児童数を見込んでいる。

討論

◎学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業費

賛成 前回の定例会では、学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業費について、様々な懸念材料があり反対をしたが、今はコロナの問題があり、学校が長期休業となった場合を想定し、子供たちの学びの保障を考えていかなければならない。インターネット依存症という懸念もあるが、ルールづくりやセキュリティポリシー等により対応することであり、また、教員の負担についても、これから半年間研修を行うということであるため、今回は賛成したい。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定



本会議 [委員長報告]
 審査を行った各委員会の委員長が、審査の経過と結果を報告
 → [質疑] → [討論] → [採決]

委員会審査
 付託議案の説明 → [質疑]
 → 議員同士の自由討議 → [討論]
 → 賛成か反対かを表明 → [採決]

本会議 [議案の委員会付託]
 議案を詳しく検討するため、議長が各委員会へ審査を付託

● **総務民生**
 ● **常任委員会**

〔第64号議案〕
 敦賀市個人番号の利用に関する条例の一部改正の件【6月定例会】

質疑
問 市民にとって、利便性はどのよう
 に向上するのか。

答 各種申請受付等の事務処理を効率
 的に行うことが可能となり、利用者にと
 っては手続きに要する時間が短縮され
 ることになる。また、証明書等の発行
 手数料が不要になることで、経済的
 な負担も軽減されると考える。

採決 **賛成多数**
原案どおり認めるべきものと決定

〔第65号議案〕
 敦賀市市税賦課徴収条例の一部改正
 の件【6月定例会】

質疑
問 新型コロナウイルス感染症が収束
 した時点で、特例措置等を元に戻すこ
 とも考えているのか。

答 措置の期限を定めているため、そ
 の

の期限を短縮するということはない
 が、状況により期限を延長する可能性
 はあると考えている。

問 イベントを中止した主催者への払
 戻請求権を放棄した方に、寄付金税額
 控除を適用するということが、払戻
 請求権の一部を放棄し、その金額分の
 寄付金税額控除を受けることも可能な
 のか。

答 払戻請求権の放棄の額は、あくま
 でも全額ということになる。

採決 **全会一致**
原案どおり認めるべきものと決定

〔第77号議案〕
 一般廃棄物最終処分場用地取得の件
 【6月定例会】

質疑
問 当初予算で物件移転補償金が約
 1億7000万円計上されていた
 と思うが、今回の用地取得予定額約
 1億5000万円には、立木の処分に
 係る費用は含まれていないということ
 でよいか。

答 土地と立木に係る費用は別々に算
 定している。土地については、評価額

に基づき地権者から購入することとな
 り、立木については、伐採し処分して
 もらうため所有者に物件移転補償金を
 支払うことになる。

問 当初の計画では、沓見地区のほう
 の土地も取得の対象に入っていたと思
 うが、そこがなくなり、現在の面積に
 なった経緯を伺う。

答 当初、多目的グラウンドを整備し、
 地域貢献を含めた総合的な事業を計画
 していたが、昨年、総合運動公園陸上
 競技場に芝のグラウンドが整備された
 ため、類似施設となる多目的グラウン
 ドは整備せず、必要最小限の面積を確
 保することとなった。

採決 **賛成多数**
原案どおり認めるべきものと決定

〔第56号議案〕
 敦賀市グランド・ゴルフ場の設置
 及び管理に関する条例の一部改正の
 件【4月臨時会】

● **産経建設**
 ● **常任委員会**

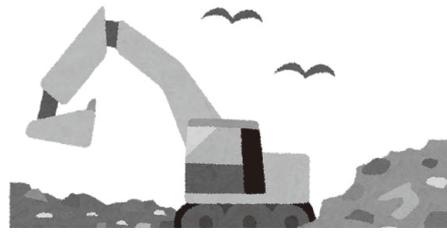
〔第56号議案〕
 敦賀市グランド・ゴルフ場の設置
 及び管理に関する条例の一部改正の
 件【4月臨時会】

質疑
問 前指定管理者は芝の管理に関して
 専門家であったが、今後、直営で管理
 を行う際には、芝の管理に詳しい職員
 を配置するのか、外部への委託を考え
 ているのか。

答 芝の管理は非常に難しく、グラウ
 ンド・ゴルフ場の命とも言えるものな
 ので、業者に委託するなど、良好なプ
 レー環境に支障が出ないような管理方
 法を検討していきたい。

討論
賛成 グラウンド・ゴルフ場を利用し
 たいという、市民からの要望を多く聞
 いている。敦賀きらめき温泉リッパ・ポ
 ートと切り離し、直営にしても、早期
 の再開を望む市民は多いと考えるの
 で、今回の条例改正には賛成である。

採決 **全会一致**
原案どおり認めるべきものと決定



〔第67号議案〕
敦賀きらめき温泉リラ・ポートの設置及び管理に関する条例の一部改正の件【6月定例会】

質疑

問 利用料金相当額の返還対象となる方に対して、どのような方法で周知を行うのか。

答 回数券の購入者に対する周知方法として、市のホームページや広報誌、(株)嶺南ケーブルネットワークの利用を検討している。

また、敦賀観光協会等に対して、SNSを利用した情報拡散を依頼したいと考えている。回数券の購入者は、市外にも多くおられるので、払い戻しの期間を半年程度設けるなど、様々な方法で対応していきたいと考えている。

問 返還の対象となる未利用の回数券は、どのくらいあるのか。

答 前指定管理者である(株)浜名湖グラウンドゴルフパークに対する聞き取りと、市内部での調査により、金額にして最大1100万円、枚数にして2万2千枚程度と見込んでいる。

問 利用者に対して返還した、未利用

分の利用料金については、(株)浜名湖グラウンドゴルフパークに代わり、市が一旦、立て替えるような形になるかと思うが、最終的に、どのような方法で立て替えた費用を回収するのか。

答 回数券に関しては、基本協定に明記されていたとおり、指定管理者であった(株)浜名湖グラウンドゴルフパークが対応すべきであるため、当然、立て替えた費用の請求を行い、相手方が支払いに応じない場合は、法的措置も検討していく。

討論

賛成 いつ利用できるかも分からない状況のまま、回数券を持ち続けていた人にとって、払い戻しは非常にありがたいと思う。

また、本来は前指定管理者が払い戻すものであるため、求償等はしっかりと対応するべきであるが、回数券については、市民からの問い合わせも多く、市が立て替える形ではあるが、払い戻しが受けられることで施設利用者の安心に繋がると考えるため、賛成である。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第74号議案〕
敦賀市水道事業給水条例の一部を改正する条例の一部改正の件【6月定例会】

質疑

問 コロナ禍における市民の負担軽減を図るため、料金改定を6ヶ月延期するとのことだが、今後の状況によっては再度の延期もあり得るのか。

答 先が見通せない状況の中で、第2波、第3波も懸念されるため、料金改定を6ヶ月延期することで、少しでも市民生活を安定させたいという思いからの条例改正である。第2波、第3波がいつ来るかもわからない状況で、再度の延期は検討しづらいため、6ヶ月の延期で様子を見たいと考えている。

討論

賛成 水道事業は受益者負担が原則であるため、感情論ではなく、どこかのタイミングで料金改定の判断をすることは必要だと思うが、今回の新型コロナウイルス感染症の影響を考えると、料金改定の延期については、賛成である。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔請願第1号〕
敦賀きらめき温泉リラ・ポートの早期再開に向けての請願【6月定例会】

討論

賛成 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの早期再開を求める声は多く、そういった市民からの要望を、市に対して目に見える形で伝えることになるため、請願の採択には賛成である。

反対 3月定例会の初日に可決した、敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会調査報告書では、リラ・ポートの早期営業再開と運営継続を求めるとの結論を出し、市に対して報告している。

また、委員会では幾度となく所管事務調査を行い、リラ・ポートの早期再開や今後の対応について調査し、市に対して意見も述べているため、市議会として、尽力していないことはなく、改めて請願として採択する必要はないと考えるため、反対である。

採決

賛成少数

不採択とすべきものと決定

文教厚生 常任委員会

〔第68号議案〕

敦賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件〔6月定例会〕

質疑

問 敦賀市が引き続き必要な教育または保育が提供されるよう、必要な措置を講じている場合は、連携施設を確保する義務を適用しないことができるようになってはいるが、必要な措置とは具体的にどのようなことなのか伺う。

答 家庭的保育事業の利用乳幼児が、保育所等へ入所する際、優先的に入所できるような措置のことで、例えば利用調整等の加点がこれに該当する。

討論

反対 家庭的保育事業について、敦賀市では公立の保育園との連携や代替保育園とも連携をしていることから安心はしているが、全国的に見ると連携保育園、代替保育園がないところでも規制が緩和されてきており、本当に子供たちを守ることができかねる不安がある。敦賀市がこのような状況になることを想定すると、条例改正はせずに、

積極的に公立保育の役割を果たすべきであると考えてるので反対である。

採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定



〔第69号議案〕

敦賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正の件〔6月定例会〕

質疑

問 特定地域型保育事業には、居宅訪問型保育も含まれているのか。

答 今回の改正の部分については居宅訪問型保育を除くが、子ども・子育て支援法による地域型保育事業には含まれている。

採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定



〔第72号議案〕

敦賀市介護保険条例の一部改正の件〔6月定例会〕

質疑

問 減免制度の周知方法について伺う。

答 介護保険料の決定通知書に同封するチラシに掲載するほか、ホームページ及び行政チャンネルで周知を行う予定である。

問 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる場合は保険料を減免することができるが、減収見込み額の計算方法は。

答 被保険者に対する迅速な支援の観点から、申請時点までの収入実績額に

12月までの収入見込みを足した年間収入見込み額により算定する。

討論

賛成 介護保険料の制度を創設した時から、敦賀市独自の減免制度を制定している点において優れている中で、コロナ関係についても減免をするという

ことで、減免制度がさらに拡充されたことについて評価する。また、低所得者に対する保険料率についてもさらに軽減されることから賛成とする。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定



特別委員会中間報告

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

● 原子力発電所 特別委員会 ●

日本原子力発電株式会社関係
【6月定例会】

質 疑

問 敦賀発電所2号機の審査会合で、原電が提示した地質データの書換えについての敦賀市としての見解を伺う。

答 規制委員会からは調査、分析、対策の検討が不十分であることなどの指摘を受けており、指摘を受けた事項に対して、納得できるデータ、エビデンスを示して説明し、信頼回復に取り組みたいと伝えている。

また、データの書換えについては恣意的なものではないとのことであるので、次回以降の審査会合でエビデンスも含めて説明していくと聞いている。

問 先日、新聞報道で規制委員会の更田委員長から破砕帯について調査が進んでいないのではないかとというような発言があったが、敦賀市としてのスタンスは。

答 記者会見の議事録などを確認したが、凍結などの発言の前に事業者から

立証の主張があれば審査を打ち切ることとはできないとも述べている。また、自民党の特別委員会にて、規制庁次長は敦賀2号機を特定したものであるのではなく、一般論としての発言であると述べており、あくまで可能性としての発言で、委員会の方針ではないと捉えている。

日本原子力研究開発機構

【6月定例会】

問 試験研究炉の話について報道されているが、敦賀市として把握していることはあるか。

答 前年度までの調査報告が文部科学省の審議会に提出され、今後、炉型を絞りこむとのことであるが、市の産業や経済などに貢献する施設となるよう、これからの審議を見守り、随時、報告を受けたいと考えている。

● 新幹線対策 特別委員会 ●

新型コロナウイルスの影響について
【6月定例会】

質 疑

問 当初予定していた公園や広場での社会実験ができないまま、設計段階に入ってしまうこともあり得るのか。

答 開業に間に合わせようとする、社会実験を行わないスケジュールになる可能性もあるが、規模の縮小等をしてでも実験できるよう調整している。



敦賀駅正面からの新幹線の工事現場写真（7月現在）



上からの新幹線の工事現場写真（6月末現在）

議会報告会

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、参加者の皆様方の安全を最優先に考え、3密にならない形での議会報告会を検討しています。ご理解をお願いいたします。

新幹線駅前広場の整備について

【6月定例会】

質 疑

問 散策路連絡橋ができると、木の芽川左岸の堤防の上は、散策できるのか。

答 木の芽川を散策できる歩道を、県と連携しながら整備する方向で考えている。また、左岸側の市道171号線も歩道を整備する予定であり、散策路連絡橋と市道の歩道を繋げ、回遊性を持たせていきたい。

市庁舎建設対策
特別委員会

議員説明会（建設工事の進捗状況説明及び現場見学）の後、当委員会が開催されました。

市庁舎整備
各種工事等について【6月定例会】

全体進捗は5月末時点で20パーセント。本体建設工事の建築では、地下埋設物の撤去に10日の遅れがあったが、現在進めている免震装置設置のタイミングでは、リカバリーは済んでいる。今後、機器設備等の発注時からコロナ

の影響が出てくるのではと心配している。

H2One 自立型水素エネルギー供給システム導入工事は、コロナの影響に直面しており、どうにか今年度中に間に合わせるといった状況である。

各種事業者選定については、売店のプロポーザル、食堂のプロポーザルは終了している。食堂は、応募が1社で、6月5日の審査で Kei・cook に決定している。売店は、応募がゼロであったため、改めて9月に募集をかけていく。

総事業費については、6月補正時点で74億を超えた。総事業費は、増える要素も減る要素もあるというところで管理している。

また、新庁舎への移動に伴い現状の文書量の3割削減を目指す。

市庁舎整備

レイアウトの確定報告について
【6月定例会】

1階から4階の各フロアに多目的トイレがあり、1階カウンターラインの中央にキッズスペースを設ける。

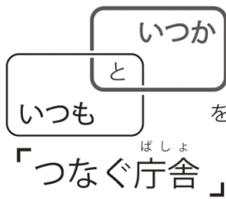
質 疑

問 文書の廃棄について、情報公開条例との整合性やデータ化はどうかというのか。

答 基本的にはそれぞれの文書保存年限に沿って整理したい。なおかつ、ペーパーレス化の中で電子化を取り入れていきたい。

問 特に今回のコロナ対応等、貴重で歴史的な、今後次世代につないでいくべき文書もあると思う。そういう場合に、きちんとデータ化すること。大変ではあるが、ペーパーとしても残すべきではないか。

答 特異なものについては、残していきたいと考えている。



新庁舎の工事現場写真（7月現在）

請願・陳情は

どなたでもできます

請願・陳情とは……

市政について、市民のみなさんが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会で内容を確認し、全会一致で認められたいものは、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります。それ以外は全議員に写しを配付します。

※郵送による陳情は認めておりません。

※請願、陳情の処理結果については、後日文書にて提出者に通知します。

【書式例】

年月日
請願（陳情）書
敦賀市議会議長 殿
紹介議員（請願のみ）
住所
氏名
.....について
請願（陳情）趣旨
請願（陳情）事項
1
2

一般質問 項目一覧

- ◎前川和治議員
 - 1 新しい生活様式を取り入れた働き方について
 - 2 ICTの活用について
 - 3 市庁舎の建て替えによるごみのリサイクルについて
- ◎山本貴美子議員
 - 1 コロナ禍から市民の暮らしを守る
 - (1) 減免制度の拡充
 - (2) 暮らしの支援
 - 2 コロナ禍から子どもを守る
 - (1) 子育て家庭への負担軽減
 - (2) 子どもの昼食支援
 - (3) 子どもへの虐待の問題
- ◎立石武志議員
 - 1 新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み
 - (1) 敦賀市の財政状況と次への対策
 - (2) 新型コロナウイルス禍時の複合災害など
 - (3) リラ・ポート及びリラ・グリーン
- ◎林正男議員
 - 1 新型コロナウイルスの影響による今後の市のイベント等について
 - 2 リラ・グリーン（敦賀市グラウンド・ゴルフ場）について
- ◎福谷正人議員
 - 1 敦賀きらめき温泉リラ・ポートについて
 - 2 教育について
 - 3 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について
- ◎中野史生議員
 - 1 コロナウイルス感染症における敦賀市の対応と検証について
 - 2 保育園の入園に際する選考条件について
- ◎松宮学議員
 - 1 高齢者、障がい者へのごみ出し支援について
 - 2 新型コロナウイルス感染について
 - (1) 医療・検査の抜本強化
 - (2) 医療・介護施設への財政支援
- ◎豊田耕一議員
 - 1 歳入の増加策について
 - 2 自然の活用について
 - 3 新ムゼウムについて
- ◎浅野好一議員
 - 1 農業振興について
 - (1) 農地の状況
 - (2) 後継者育成
 - 2 市道について
 - (1) 第一産業団地の道路
 - (2) 木崎地域の道路
 - 3 新型コロナウイルスの感染症による産業対策について
 - (1) 第一次産業への影響
 - (2) 今後の対策
- ◎林恵子議員
 - 1 第4期敦賀市地域福祉計画について
 - (1) 支援体制の充実
 - (2) 福祉の心を育む
 - (3) 地域全体で支え合う仕組みづくり
 - 2 新型コロナウイルス感染症対応について
 - (1) 乳幼児家庭への対応・対策
 - (2) 小中学生への影響
- ◎三國真弓議員
 - 1 いじめ早期発見のための相談窓口について
 - (1) いじめ早期発見のためのアンケートの進捗
 - (2) 相談窓口の確保・利用促進
 - (3) 今後の相談窓口
- ◎今大地晴美議員
 - 1 一般廃棄物の共同処理について
 - 2 第三者調査委員会について
- ◎中道恭子議員
 - 1 新型コロナウイルス感染症からみる福祉政策について
 - (1) 新型コロナウイルス感染の福祉政策への影響と課題
 - (2) 生活困窮者、障がい者と高齢者福祉への取組（提案）
 - 2 新たな避難所（感染症を防ぐ）運営について
 - (1) 過去における災害時の避難状況と課題
 - (2) 新たな避難所開設（感染症を防ぐ）の準備とスケジュール
 - 3 GIGAスクール構想の早期実現について
 - (1) GIGAスクール構想の背景（目的）と今後の進め方
 - (2) 敦賀市が目指すGIGAスクール構想と課題
- ◎北村伸治議員
 - 1 市営住宅の現状等について
- ◎和泉明議員
 - 1 笹の川整備計画について
 - 2 並行在来線及びJRに係る問題について
- ◎山本武志議員
 - 1 危機意識を高めた新型コロナウイルス感染への備えについて
 - (1) 敦賀市新型インフルエンザ等対策行動計画の検証と反映
 - (2) 県内一円での感染発症を想定した医療体制
 - 2 難局を乗り越えるための原動力となる市民イベントについて

敦賀市議会 HP から動画視聴ができます。

一般質問



前川和治
(無所属)

新しい生活様式を取り入れた働き方について

問 新型コロナウイルス感染によって業務停止を避ける観点と、働き方改革推進の観点から、在宅勤務や電子決裁システムの常設導入ができないか見解を問う。

答 は、在宅勤務、電子決裁、ペーパーレスは、新庁舎になることから、現在検討しており、できる部分から導入していきたい。

市庁舎の建て替えによるごみのリサイクルについて

問 市庁舎の建て替えにより、どれだけの不用品が出るのか。

答 不用品の処分費用として概算金額約3200万円を試算している。

問 不用品は、リサイクル展を開催し、欲しい方があれば持って帰って使用し、でもらうような取組みをすべきかどうか。

答 リサイクル展等を開催し、市民の皆様等へお譲りしたい。

一般質問



山本貴美子
(共産党)

コロナ禍から市民の暮らしを守る

問 コロナ禍で、市民の暮らしが大変になっている。市税賦課徴収条例に基づいて、市民税について猶予だけでなく減免をすべきと考えるが市の計画を聞く。

答 減免、基準緩和の自治体はあるが、県内にはない。県内の担当者レベルで情報交換を行い、今後どうするか検討、研究している。

コロナ禍から子どもを守る

問 児童虐待防止対策として政府は子ども見守り強化アクションプランを発表。実態の把握のため子ども食堂等の協力も呼びかけること、支援対象児童に定期的な電話、訪問をして様子を確認し、必要な支援に結びつけること、通報、相談窓口の周知のため自治体のSNSを活用すること等。これらを実施すべきと考えるが計画を聞く。

答 母子保健事業と連携し支援が必要。今後、必要に応じて検討を行っていく。

一般質問



立石武志
(同志会)

新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み

問 これまでとは違う喫緊の感染症の中で、地震や風水害など複合災害防止の避難対策が必要と考えるが市の見解を伺う。

答 県作成の新型コロナウイルスに備えた避難所運営手引きを参考に対策を行う。避難所の分散化や開設数の増加で、安全、安心の中、3密を防ぐ対策をとっていきたい。

問 今後リラ・ポート、リラ・グリーンをどのようにするのか。再開するのであればいつからか。特にリラ・グリーンはすぐにでも再開できると考えるが見解を伺う。

答 リラ・ポートは第三者委員会での問題点を確認し、適正な運営費、運営方法を検討するため、まだいつかというのはい言えない状況である。リラ・グリーンは、できるだけ8月中には再開できるよう取り組んでいきたい。

一般質問



林 正男
(同志会)

新型コロナウイルスの影響による今後の市のイベント等について

問 新型コロナウイルスの影響により、中止となる敦賀市の今後のイベント等について決定されたもの、未定のものも含め伺う。

答 市が主催、共催するイベントのうち、対策を講じて3密が避けられないものは中止や規模縮小などの対応をとっている。すでに中止が決まっているものには、松原海水浴場の開設、花火大会、敦賀まつり、9月までの3回のダイヤモンド・プリンセスの寄港がある。11月の寄港は現時点で未定、とうろう流しは縮小して実施の方向性である。

リラ・グリーン（敦賀市グラウンド・ゴルフ場）について

問 8月に開場するとの事だが、間違いないか確認する。

答 全力で8月中にオープンできるように取り組む。

一般質問



福谷正人
(市政会)

教育について

問 高校受験を控える学年もある中、市の学習の進め方や遅れを取り戻す方法、方針などについて伺う。

答 授業日数について、臨時休業により34日間減少し、夏季休業の短縮により15日間確保できる。原則、年度内に必要な指導を終えるように最大の努力を行うが、子供たちへの負担や学習内容の定着の状況を最優先に考え、無理のない形で学習を進めていきたい。

問 第2波、第3波は必ず来るだろうか。感染防止、学習継続の観点など様々な視点から、どのように考えているか伺う。

答 手洗い、せきエチケットの徹底、身の回りを清潔に保つなどの指導を継続し、感染経路を未然に防ぐ。また家庭で検温などの協力をいただく。万が一、第2波、第3波が発生した際には必要に応じて学校の全部または一部を臨時休業とするなどの判断をしていきたい。

一般質問



中野史生
(市政会)

コロナウイルス感染症における敦賀市の対応と検証について

問 敦賀市で他市町並みの救済策が出されたのは、福井県を含む39県の緊急事態宣言解除後であり、各市から1か月遅れで給付が決定された。なぜ、このような市民に寄り添った対策が遅くなったのか。

答 感染症対策の優先順位、タイミングについては、感染の状況によって変動していくものだと考え、最も支援が必要な方への対応を最優先に取り組む方針でこれまでも進めてきた。

保育園の入園に際する選考条件について

問 子は地域の宝。保育園の入園に際し、何を一番優先する条件と考えるか。環境が変わる乳幼児を中心に地域を優先として考えるべきでは。

答 保護者の方の職場の近く等、保育が必要な保護者の生活形態による保育の必要性を優先したい。

一般質問



松宮 学
(共産党)

高齢者、障がい者へのごみ出し支援について

問 高齢者や障がい者が自分のごみを出せない現状があることから、ごみ出し支援は、見守りや安否確認など、高齢者や障がい者の安全かつ安心な生活に大きく貢献している。実施団体に財政支援できないか。

答 ごみ出し支援を実施している事業所は、個人や営利法人等もあり、支援の予定はない。

新型コロナウイルス感染について

問 病院、診療所や高齢者介護施設は感染対策での費用増加と受診抑制や施設利用控えで、経営難になっている。これらの施設は市民の健康になくならないものであり、財政支援が急務と思われるが見解を聞く。

答 新たな支援制度は、考えてない。既存の支援制度を活用してほしい。

一般質問



豊田耕一
(同志会)

歳入の増加策について

問 ふるさと納税の返礼品発送の管理やサイトの掲載等に関わる事業は、東京都にある会社に約1億円で委託しているが、このふるさと納税に係る事業を、市内の会社が行えるよう検討していただきたい。

答 ふるさと納税により生じる果実である収入、委託料等の経費も含めて、出来る限り市内に帰着させ、市内経済の好循環を生み出していきたい。

新ムゼウムについて

問 新ムゼウムの説明パネルに「欧亜国際連絡列車が運行していた大正〓昭和初期にあった建物群を当時の位置に復元しました」とあるが、欧亜国際連絡列車の運行は明治時代にスタートしているのに「大正」という表記を「明治」に変更していただきたい。

答 説明パネルは、新ムゼウムの建物の紹介ということで設置しているので、このような記述となっている。

一般質問



浅野好一
(市政会)

農業振興について

問 若手農業者と新規就農の状況、農業後継者支援について伺う。

答 現在50歳未満の認定農業者は2名。規模拡大も1名は16ヘクタールまで作付面積を拡大し、もう1名は園芸ハウスを導入して施設園芸に取り組んでいる。また本年度中に更に2名の新規就農を予定。そのような後継者に対して、産地交付金や園芸作物等推進事業、県二州農林部やJAでの各種講習を開いて支援していく。

市道について

問 本岐地区の県道松島若葉線と平行して南北に整備されている土地改良区等所有の農道について、市道認定の状況は。

答 市道認定の基準を満たす道路については、土地改良区との用地境界確定、土地の寄付、既設構造物の補修等の協議を行って、要件が整えば市道認定することは可能。現在、協議中である。

一般質問



林 恵子
(市政会)

第4期敦賀市地域福祉計画について

問 医療的ケア児が入園・入学を希望したことはあるか。

答 保護者、主治医と事前に相談を行い、通常保育が可能であると判断できる場合には、担当する看護師または保育士を配置することで受け入れ可能である。小学校についても本人、保護者の意向を最大限に尊重した上で専門家が入った委員会で協議をし、最適な学びの場を提供できるように努めていきたい。

新型コロナウイルス感染症対応について

問 小中学校から保護者へのメールが、理解しにくかったと聞いているが、どのような工程で行われたのか。

答 県教育委員会からの要請を受け、市長部局と教育委員会で判断し、市内小中学校の校長に連絡をした。ご指摘については、内容を吟味して対応するように伝えていきたい。

一般質問



三國真弓
(無所属)

いじめ早期発見のための相談窓口について

問 いじめ早期発見のためのアンケート改善について進捗状況を問う。

答 無記名式を取り入れるよう校長会で提案し、公認心理師など専門職の助言を受け、フォーマットを作成した。現在、各校において修正を行っている。

問 子供達の相談窓口の利用促進について、現状の対面や電話・メール相談だけでなく、今の時代に合わせたより多様な相談窓口の確保として子供達の活用しやすいLINEを使った相談窓口を開設する考えはないか。

答 必要性を感じ、県に要望してきた。夏休み明けを目途にSNS相談事業を開設すると聞いている。本市としても子供達に周知していきたい。



一般質問



今大地晴美
(無所属)

一般廃棄物の共同処理について

問 市が取得するタナベ牧場借用の金山森林組合の土地は、借主に梅の木の撤去を含めた物件移転補償金およそ1億5千万円(通常の山林の2倍)が支払われる。なぜ、3年前の鑑定価格になるのか。

答 当時からある程度両者納得の上交渉を進めており、今回、最終合意に至ったため、29年度鑑定評価価格で売買契約をする。また、借主が通常の山林より、よい状態にして梅の木を植樹しているため、伐採を含め平坦な土地にしよう。

第三者調査委員会について

問 いじめ問題ではなく自死中心の今回の第三者調査委員会で、何を解決したのか、いじめ問題についても明らかにするのか。

答 目的は、事実関係の確認及び再発防止を図ること。文科省の指針に従い基本調査の情報確認、当事者の状況、学校に関わる背景、個人的な背景や特性、家庭に関わる背景が調査の対象となる。

一般質問



中道恭子 (公明党)

新型コロナウイルス感染症からみる福祉政策について

問

県はコロナ受診の際に、聴覚障がい者支援として「リモート手話通訳システム」を設置したが、本市での受診にも使えるのか。今後このシステムを新庁舎に設置してはどうか。

答

本市でも外来受診から退院まで利用できる。新庁舎での設置については、地域福祉課に1名配置している手話通訳担当者で対応していきたい。

GIGAスクール構想の早期実現について

問

市が目指すGIGAスクール構想と課題について伺う。

答

1人1台の端末環境の特性を生かした、創造性を育む学びの実現を目指す。また、端末や校内ネットワーク整備等の維持更新にかかる財政負担や、これまでの授業からパソコン等を活用した授業に移行するに当たり、特性を生かして効果的に活用できるかが課題である。

一般質問



北村伸治 (市政会)

市営住宅の現状等について

問

現在の管理戸数と入居数及び空き家戸数を伺う。

答

令和2年5月31日現在、市が管理している市営住宅は1584戸あり、その内入居戸数は1011戸、空き家は573戸ある。

問

市営住宅の管理戸数、入居戸数に対して、空き家戸数が非常に多いが、その理由について伺う。

答

空き家の中には、老朽化等で解体改修の予定の政策空き家が347戸あり、残りの226戸から移転確保分140戸を除いた86戸が入居可能な空き家で、定期・随時募集している。

問

単身者用の戸数は64戸あり、現在51戸が入居中だが、増加は可能か。

答

単身で住んでいる家族用の住戸もあり、もう少し拡大方向で考えている。

一般質問



和泉 明 (市政会)

笹の川整備計画について

問

来迎寺橋新設工事は来年非出水期の秋に着工、令和6年度完成予定で間違いはないか。

答

今後、取付道路高上げに伴う補償交渉を行っていく予定である。順調に進み、補償が全て完了すれば、令和3年度の非出水期から工事着手し、令和5年度にかけて新来迎寺橋の架け替え工事を行い、令和6年度中に取付道路の高上げ工事を行う計画となっている。

問

16年の工期内で来迎寺橋架け替え工事と並行し、護岸補強、他の橋梁架け替えや補強、そして最終的に河床掘削まで完了させるものだが、福井県には全てのスケジュールを組んでもらいただきたいが、市の見解は。

答

平成30年度から県への重点要望として笹の川整備の全工程を示すよう要望している。3月下旬に住民説明会を開催予定だったが、コロナ禍で延期した。年に一度の開催を県と調整していく。

一般質問



山本武志 (市民クラブ)

危機意識を高めた新型コロナウイルス感染症への備えについて

問

嶺北・嶺南で感染の波が重なる最悪のケースも想定し、滋賀県湖北エリアの病院とも医療提携を進めていくべきではないか。

答

300床以上の確保が来ていない中で、県内で対応していくことを考えており、滋賀県北部との連携について敦賀市のほうで要請する予定はない。

難局を乗り越えるための原動力となる市民イベントについて

問

これまで感染拡大防止に協力いただいた市民の皆さんへの感謝、新型コロナウイルスの影響を受けつつ奮闘されている方に対する激励と支援、長期戦が予想されるウイルスとの関係を市民一体となって乗り越えるなどの思いを込め、機を捉えた市民向けイベントの開催を提案する。

答

市民イベントでも人が集まるため難しいところがあるので、時期を見てそういうことを少し考えていきたい。

審議結果一覧

令和2年第2回臨時会では、一般会計補正予算案2件、条例案2件、報告議案6件が審議されました。令和2年第3回臨時会では、条例案1件、報告議案9件、議会提出議案1件が審議されました。令和2年第4回定例会では、令和2年度各会計補正予算案7件、条例案13件、一般・人事議案4件、報告議案5件、請願1件、議会提出議案1件が審議されました。

市長提出議案

1 予算

件名	付託委員会	結果
令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第4号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第5号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第9号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市介護保険特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
令和2年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市下水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第10号）	予算決算	可決
令和2年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第3号）	予算決算	可決

2 条例

件名	付託委員会	結果
敦賀市児童生徒の死亡事案に関する調査委員会設置条例制定の件	文教厚生	可決
敦賀市グラウンド・ゴルフ場の設置及び管理に関する条例の一部改正の件	産経建設	可決
市長等の給料その他の給与に関する条例及び教育長の給料及び旅費に関する条例の一部改正の件	-	可決
敦賀市個人番号の利用に関する条例の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀市市税賦課徴収条例の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀市手数料徴収条例の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀きらめき温泉リラ・ポートの設置及び管理に関する条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市後期高齢者医療に関する条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市介護保険条例の一部改正の件	文教厚生	可決
市立敦賀病院医療従事者修学資金貸与条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市水道事業給水条例の一部を改正する条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市下水道条例の一部を改正する条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例の一部改正の件	産経建設	可決

3 一般・人事

件名	付託委員会	結果
一般廃棄物最終処分場用地取得の件	総務民生	可決
敦賀市教育委員会委員の任命につき同意を求める件	-	同意
敦賀市公平委員会委員の選任につき同意を求める件	-	同意
敦賀市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める件	-	同意

4 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件（令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第10号））	承認
専決処分事項の報告の件（令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第2号））	承認
専決処分事項の報告の件（令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第3号））	承認
専決処分事項の報告の件（令和2年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第1号））	承認
専決処分事項の報告の件（敦賀市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（敦賀市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第6号））	承認
専決処分事項の報告の件（令和2年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部）特別会計補正予算（第1号））	承認
専決処分事項の報告の件（令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第7号））	承認
専決処分事項の報告の件（令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第8号））	承認
専決処分事項の報告の件（敦賀市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（敦賀市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（敦賀市奨学育英資金貸付基金条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（総合運動公園陸上競技場改修工事その3請負契約の変更）	報告のみ
専決処分事項の報告の件（損害賠償の額の決定及び和解）	報告のみ
継続費繰越計算書の報告の件（令和元年度敦賀市一般会計）	報告のみ
繰越明許費繰越計算書の報告の件（令和元年度敦賀市一般会計）	報告のみ
事故繰越し繰越計算書の報告の件（令和元年度敦賀市一般会計）	報告のみ
繰越計算書の報告の件（令和元年度敦賀市水道事業会計）	報告のみ
繰越計算書の報告の件（令和元年度敦賀市下水道事業会計）	報告のみ

議会提出議案

件名	付託委員会	結果
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件	-	可決
原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法の期限延長等を求める意見書」提出の件	-	可決

請願

件名	付託委員会	結果
敦賀きらめき温泉リラ・ポートの早期再開に向けての請願	産経建設	不採択

議会日誌

令和2年3月23日以降の主な議会活動の紹介です。

3月 27日(金) 議員説明会、各派代表者会議

4月 8日(水) 各派代表者会議
14日(火) 議会運営委員会
17日(金) 各派代表者会議

21日(火) 議会運営委員会、広報広聴委員会
24日(金) 各派代表者会議、市長へ要望書を提出
28日(火) 議会運営委員会、全員協議会、本会議(臨時会)、予算決算常任委員会全体会・分科会、産経建設・文教厚生常任委員会

5月 20日(水) 各派代表者会議
22日(金) 議会運営委員会
29日(金) 全員協議会、本会議(臨時会)

6月 1日(月) 議会運営委員会
3日(水) 議員説明会
8日(月) 全員協議会、本会議、議会運営委員会、各派代表者会議、文教厚生常任委員会、原子力発電所特別委員会

9日(火) 予算決算常任委員会全体会・分科会、産経建設常任委員会
16日(火) 本会議(一般質問)
17日(水) 本会議(一般質問)
18日(木) 本会議(一般質問)
19日(金) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
22日(月) 原子力発電所・新幹線対策特別委員会
23日(火) 議員説明会、市庁舎建設対策特別委員会
24日(水) 予算決算常任委員会、各派代表者会議、議会運営委員会、広報広聴委員会、議員説明会
29日(月) 予算決算常任委員会全体会・分科会、議会運営委員会、全員協議会、本会議(閉会)

7月 17日(金) 広報広聴委員会
27日(月) 議員説明会
29日(水) 各派代表者会議

8月 11日(火) 各派代表者会議
25日(火) 議会運営委員会

敦賀市議会ホームページにアクセス!

以下のような情報を公開しています

- ・過去(平成27年から)の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

http://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/index.html

敦賀市議会 検索

電話: 22-8157
Eメール: gikai@on21.ne.jp
住所: 敦賀市中央町2丁目1番1号
発行: 敦賀市議会
委員: 山本 貴美子
委員: 豊田 耕一
委員: 川端 耕一
委員: 林本 恵子
委員: 山本 武志
副委員長: 今道 晴美
委員長: 浅野 恭子
広報広聴委員会

編集委員



9月定例会の日程(予定)

9 September ~ 10 October 2020

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
8/23	24	25 告示日	26	27	28	29
30	31	9/1 本会議 (議案説明・質疑)	2 予算決算 常任委員会	3	4	5
6	7	8	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (一般質問)	12
13	14 常任委員会	15 特別委員会	16 特別委員会	17	18	19
20	21	22	23 予算決算 常任委員会	24 予算決算 分科会	25	26
27	28	29 予算決算 常任委員会	30	10/1	2 本会議 (報告・採決)	3